

2012 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	坂田 聡		
NAME	Satoshi SAKATA		

1. 研究課題

(和文) 由緒書と偽文書に関する総合的研究

(英文) The general study of *Yuishogaki*(由緒書) and forged documents(偽文書)

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

(和文)

2009 年度に特定課題研究費の交付を受けた際、私は「民衆と天皇の関係」を研究テーマに選び、中世・近世における民衆と天皇・朝廷の関係について考察した。その中で、中世や近世の民衆が、自らの由緒を天皇との関係に求めたり、天皇・朝廷から出された書類を真似た偽文書を作成したりするケースがかなり多く見受けられることが明らかとなってきた。これらの事実をめぐっては、網野善彦の研究をはじめ、すでにいくつかの先行研究が存在するものの、その実態が十分に解明されているとはいえない。

そこで、本研究においては、中世・近世を通じて天皇家と関係性の深かった丹波国山国荘を主なフィールドとし、他の地域の事例も含め、現地調査や関連史料の読解・分析を試みることによって、上記の課題の解明を目指した。

具体的には、①現地調査による古文書の撮影、②関連文書の読解、③先行研究の講読、④由緒書・偽文書に関するデータベース作成、⑤論点の整理と考察、といった一連の作業を行なうことで、民衆、特に有力農民が、自らの特権的な地位や権益を守るために、そして、それを後世にまで伝えるために、由緒書や偽文書を作成した事実を、個々の事例に即して明らかにした。

(英文)

The primary purpose of my study is to offer a new perspective on the relationship between people and *Tenno* (the Japanese Emperor). In this study, I have found the fact that people tried to connect their origins with *Tenno* and draw up their documents which copied the styles of ones from the Imperial Court. Concretely, I have especially studied how the peasants in *Tanbanokuni Yamagunino-syo* made the documents on their origins in order to form and protect their positions or interests.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p>
<p>坂田聡「丹波国山国荘地域の現地調査・その成果と課題」（『民衆史研究』85号、査読無、11-22頁、2013年5月）</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p>
<p>坂田聡「丹波国山国荘地域の現地調査・その成果と課題」（民衆史研究会大会、東京、2012年12月）</p>
<p>坂田聡「山国荘における由緒書と偽文書」（山国荘研究会、東京、2013年5月）</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
<p>坂田聡・吉岡拓、高志書院『民衆と天皇』（2014年）</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>